

発行：吉田地区地域コミュニティ運営協議会事務局  
0954-43-9380

## 吉田夏まつり、大盛況でした！

～たくさんの参加・運営支援ありがとうございました～



園児20人による「忍たま音頭」「アンパンマン音頭」を皮切りに4年ぶりのフル規格の夏まつりが、始まりました。浴衣姿のかわいい踊りを思い出に残そうと多くのお父さん・お母さんがたくさん写真を撮っていました。また、多くのご来賓もお越し下さり、代表して村上市長からご祝辞をいただきました。

吉田中学校からは、2年生・3年生の合同チームがNHK全国音楽コンクールの佐賀県大会に出場するために練習を重ねた「君とみた海」をご披露してくれました。海への思いや友情に対する思いが込められた素晴らしい合唱でした。



令和5年度の夏まつりを吉田夏まつり実行委員会主催により8月19日（土）に開催しました。吉田保育園園庭で午後6時から、吉田保育園の園児60人、卒



吉田小学校からは、6年生14人による「ソーラン節」のご披露でした。吉田小学校のリーダーにふさわしく、見ている人も元気をもらえる全身全霊をかけたソーラン節となりました。エミアロハスタジオからは、幼児から中学生まで、23人による「カマアヒカフルイ」ほか3曲のご披露がありました。



日中の暑さも少し収まった感も出てきた頃に総踊りによる「炭坑節」が、始まりました。踊りの先生の副島優嘉さんを筆頭にコミュニティの女性部である「笑ってYわい会」の皆さんを振付のお手本として、市長や実行委員の方々が輪になって踊りました。これぞ盆踊りというイベント





トのハイライトにふさわしく一般の方も飛び入り参加いただきましたが、来年はさらに盛り上げて、踊りの輪が二重、三重になるように声掛けをしますので、ファミリーでの参加も含めてよろしくお願いします。



そのあとはお待ちかねの抽選会です。目玉賞品は、43インチの4K大型テレビでした。他にも多くの協賛品が用意され、当選された方は思わぬ幸運に笑顔が弾けていました。今回から、ちびっこが楽しめるまつりを目指して「子どもゲームコーナー」と「子ども一斉ジャンケン大会」も新設してみました。ゲームでは、輪投げとボーリングを楽しんで、賞品としてお菓子をゲットしていました。ジャンケン大会では、幸運にも勝ち抜いた男子の子が、一抱えもある花火セットやお菓子のレイを獲得していました。



うれしの元気通信提供（西吉田から撮影）

最後は吉田ならではの花火大会です。会場からは程よい距離感で、見事に空いっぱいになり、盆地ゆえに打ち上げの音が響き渡っていました。また、会場以外の皆さんもそれぞれに見所を確保していて、「ここが一番！」と花火を満喫されていました。また、露店もイベント終了まで大賑わいでした。



**編集後記** 今回の夏まつりは、本当に多くの方々に支えられて開催することができました。50人を超える夏まつり実行委員の皆さんは、猛暑のなか、会場設営・運営と文字どおり滝のような汗をかきながら、頑張ってくださいました。また、地区の消防団や交通指導員の方々や駐在さんなどは、見えないところで安全確保にしっかりと万全な体制を取っていただきました。この地域一体となった取り組みは、吉田という地域のいざという時の底力を十分に感じさせるものでした。